

山梨県立中央高校 対 東京都立砂川高校

■試合時間 1時間39分 ■備考 5回コールド

[illegible]

■ バッテリー

捕手
横 田 努

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
金 井 孝 憲	5	21	2	10	4	2

■ バッテリー

捕手
長田 匡介

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
渡 辺 智 宏	5	32	4	8	8	4

1回戦駒沢球場の第2試合は、2年連続8回目出場 of 山静地区代表・山梨県立中央高校と2年連続2回目出場 of 東京都第2代表・都立砂川高校の対戦となった。砂川は初回制球の定まらない中央先発渡辺の立ち上がりを攻め3番望月の右翼越え適時三塁打と二つの暴投で3点を先制すると2回にも1点を追加し試合の主導権を握る。4回には敵失と5番横田の時計り安打などで5点を奪い9-0と点差を広げる。3回まで砂川先発金井の前に無安打に抑えられていた中央は4回二死から4番小野が内野安打でチーム初安打を放つが後続を断たれ無得点に終わる。続く5回砂川は無安打ながら相手の守備の乱れを逃さず4点を追加する。何とかした中央はその裏二つの四球と暴投で二死ながら一塁の好機を作ると1番長田が中堅越え2点適時三塁打を放つも後続が打ち取られ反撃もこぼす。4回安打ながら相手のミスを逃さず効率よく得点を奪った砂川が5回コールド13-2で勝利した。一方敗れた中央は先発渡辺が8四死球と制球に苦しみ失策も七つを記録するなどチーム全体で守りのミスが重なり無念の敗戦となった。